

株式会社翠光トップライン

Presents

メールマガジン#24

依然としてオミクロン株による第 6 波がピークアウトを迎えておりませんが、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。何かと不便の多い今日ですが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が戻りますようお願い申し上げます。今回も電力についてのお話をさせて頂きたいと思いますが、BPS 無償キャンペーンが静かですが大きな反響がありますが、今月末日までですのでご関心のある方はお早めどうぞ。

一般財団法人災害支援財団 HP→ <https://dsf-j.org/>

一般社団法人エコファーム推進機構 HP→ <http://ecofa.or.jp/>

東京都江戸川区社会福祉法人施設長 G 様

ご質問：燃料調整費についてわかりやすく教えてもらえますか？

今回は燃料調整費についてご説明いたします。

いま、電気代が「●●か月連続で値上げ・・・」というニュースが流れています。

皆様の生活に直結する問題ですので詳しくお伝えします。（実は小売電力事業者もかなり苦しんでいる問題でもあります）

燃料費調整制度とは、火力発電のための燃料（原油、液化天然ガス、石炭）の価格変動に応じて毎月の電気料金を調整し、価格変動を電気代に反映させるための制度です。

燃料費調整制度により調整された額が「燃料費調整額」として、普段私たちが支払っている電気料金に含まれています。

（出展：エコめがね）

簡単に言いますと、火力発電の燃料は相場変動が毎月あるので、予め電気代から徴収しておき、変動幅に応じて月ごとに差引されたものです。

背景：電気料金のコストのうち、燃料費は経済情勢（為替レートや原油価格等）の影響を大きく受けることから、電力会社の経営効率化の成果を明確にするため、燃料費の変動を迅速に電気料金に反映される制度です。1996年1月に導入されました。

計算方法については↓↓↓↓東京電力エネジーパートナーHP ご参照ください。

<http://www.tepco.co.jp/ep/corporate/adjust2/>

計算によって原油換算 1klあたりの価格 44,200 円を上回ればプラス調整、下回ればマイナス調整となります。

現在東京エリアでは 高圧 2.2 円、低圧 2.27 円（2022/4）とプラス調整となっておりますので、この単価に使用した電気量を掛けた金額が加算されます。

例：月の電気使用量が 1000kwh のとき燃料調整費が 2.2 円の場合 $1000\text{kwh} \times 2.2 \text{ 円} = 2200 \text{ 円}$ 加算されます。

燃料調整費の変動

東京エリア高圧を例にしますと 2021 年 1 月 -5.2 円であったのが 2022 年 4 月+2.2 円つまり 15 ヶ月で 1kwh あたり 7 円も値上がっています。

1 ヶ月 1000kwh 電気を使用すると 7,000 円の値上げとなります。

余談ですが毎月電気代が値上げしているのに小売電気事業者は決して儲かっていません
なぜなら、値上げ額以上に電気の仕入れが高いためです。（小売電力事業者の一部を除く）

各月の推移は↓↓↓↓新電力ネット ご参照ください。

<https://pps-net.org/statistics/adjust>

原則、新電力小売り事業者（当社）は燃料調整費を一般送配電事業者（東京電力パワーグリッド、中部電力、関西電力など）の算定価格に準拠します。（当社も準拠しております。）

電気代の値上げのからくりとは？

先に述べた電気代が「●●ヵ月連続で値上げ・・・」はこの燃料調整費の単価がプラス調整され続けているからです。

値上げの原因はエネルギーの高騰です。理由のひとつに世界各国でコロナ禍からの脱却がはじまり、急激に経済が動き出すことでエネルギー（天然ガス・石油など）の争奪戦がはじまったことがそのひとつとされています。

ロシア・ウクライナの戦争

エネルギー高騰に拍車がかかることが予想される由々しき事態が勃発しました。ロシアは天然ガスや石油資源が豊富にあり、主にヨーロッパ諸国でのロシア資源の依存度が高い状況です。世界中がロシアに経済制裁を発動し孤立化を進めていることで、ロシアのエネルギー資源の供給を止めてしまうためさらなる高騰が予想されています。

コロナ感染症も戦争も一刻でも早く収束して欲しいものです。そして、皆様には今まで以上に「節電」のお願いをいたします。

次回は再エネ賦課金「年々負担が増加する」もう一つの原因賦課金をテーマにしたいと思います。

一般社団法人エコファーム推進機構より

新型コロナウイルス感染症対策として、マスク不足時の無償提供、厚労省「令和3年度新型コロナウイルス感染症観戦拡大防止継続支援補助金」東京都「中小企業等における感染症対策助成事業」に貢献して参りました。さて、この度、中小企業振興にて「中小企業等における感染症対策助成事業」リニューアルと称しまして、昨年とほぼ同内容の助成事業が本年1月より開始されました。

当機構から感染症対策製品として「顔認証・体温測定システム」* 及び「空気清浄機」をご案内します。

* 既に「顔認証・体温測定システム」に関して助成金をお使いになってご購入済の方は「空気清浄機」のみになります。

空気清浄機について動画のご紹介はこちら

→https://www.youtube.com/watch?v=GE_yBuwEZQQ

助成率 2/3

助成金上限：50万円

申請期間：令和4年（2022年）3月31日（木）

この件に関してご不明な点がある場合は、以下にご連絡くださるようお願いいたします。

一般社団法人エコファーム推進機構

連絡先：03-5812-1838

担当：シマダ、スギムラ

東京都 中小企業等による感染症対策助成事業

一般社団法人エコファーム推進機構

会員各位

- ・助成率：2/3 (50万円まで)
- ・申請受付期間：3月31日 (先着順)
- ・対象アイテム：空気清浄機
- ・主な対象事業者：中小企業者※
(会社及び個人事業者)

- ご用意頂く書類
- ①登記簿謄本
 - ②納税証明書
(事業税・住民税)



(税別)

価格	330,000円
助成額	▲220,000円 2/3
事業者様ご負担分	110,000円 1/3



申請は事業者様に行って頂きますが、製品の在庫に限りがございますので、必ず事前にお問合せ願います。

助成事業の概要

連絡先 03-5812-1838 担当：嶋田、梶村（スギムラ）

こんなニュースを見つけました！

2022/02/24 TEAM 防災ジャパン

【地域防災】足立区防災まちづくり基本計画が改訂されました／東京

詳細はこちら→

<https://bosaijapan.jp/news/%e3%80%90%e5%9c%b0%e5%9f%9f%e9%98%b2%e7%81%bd%e3%80%91%e8%b6%b3%e7%ab%8b%e5%8c%ba%e9%98%b2%e7%81%bd%e3%81%be%e3%81%a1%e3%81%a5%e3%81%8f%e3%82%8a%e5%9f%ba%e6%9c%ac%e8%a8%88%e7%94%bb%e3%81%8c%e6%94%b9/>

2022/02/24 TEAM 防災ジャパン

【普及啓発】企業の防災対策に関する調査結果が公表されました -株式会社識学

詳細はこちら→

<https://bosaijapan.jp/news/%e3%80%90%e6%99%ae%e5%8f%8a%e5%95%93%e7%99%ba%e3%80%91%e4%bc%81%e6%a5%ad%e3%81%ae%e9%98%b2%e7%81%bd%e5%af%be%e7%ad%96%e3%81%ab%e9%96%a2%e3%81%99%e3%82%8b%e8%aa%bf%e6%9f%bb%e7%b5%90%e6%9e%9c%e3%81%8c/>

2022/02/28 TEAM 防災ジャパン

【地域防災】「第 26 回(令和 3 年度)防災まちづくり大賞」受賞団体が決定しました -消防庁

詳細はこちら→

<https://bosaijapan.jp/news/%e3%80%90%e5%9c%b0%e5%9f%9f%e9%98%b2%e7%81%bd%e3%80%91%e3%80%8c%e7%ac%ac26%e5%9b%9e%e4%bb%a4%e5%92%8c3%e5%b9%b4%e5%ba%a6%e9%98%b2%e7%81%bd%e3%81%be%e3%81%a1%e3%81%a5%e3%81%8f%e3%82%8a%e5%a4%a7/>

2022/03/02 TEAM 防災ジャパン

【防災施策】川崎市「デジタル技術を活用した防災まちづくりに関する協定」が締結されました -NEC／神奈川

詳細はこちら→

<https://bosaijapan.jp/news/%e3%80%90%e9%98%b2%e7%81%bd%e6%96%bd%e7%ad%96%e3%80%91%e5%b7%9d%e5%b4%8e%e5%b8%82%e3%80%8c%e3%83%87%e3%82%b8%e3%82%bf%e3%83%ab%e6%8a%80%e8%a1%93%e3%82%92%e6%b4%bb%e7%94%a8%e3%81%97%e3%81%9f%e9%98%b2/>

BPS 設置事例のご紹介

今回は、渋谷の商業施設 2 か所に最初に設置した防災非常用電源 BPS をご紹介します。



メールマガジン発行元：

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-11-10 トップライン BLD

株式会社翠光トップライン

Tel:03-5688-3177 Fax:03-5688-3277

URL:<http://www.suikohtl.com/>

E mail: bps@suikohtl.com

